

	一般的名称	報告の概要
156	ヒドロキシエチルデンプン配合剤	重症敗血症患者537例を対象とした調査の中間解析において、乳酸リンゲル液の急速輸液とヒドロキシエチルスターチの急速輸液を比較したところ、急性腎不全と腎代償療法の頻度が有意に後群で高く、腎臓の有害事象とHESの蓄積量の関連が示唆された。
157	ドンペリドン	心停止の既往のある患者にはドンペリドンとハロペリドールを投与した場合、心停止のリスクが高くなることが示唆された。
158	エストラジオール	ホルモン補充療法(HRT)は、卵巣癌の発症リスクを高めることが示唆された。
159	ジクロフェナクナトリウム	NSAIDsとSSRIの併用により、重篤な上部消化器系副作用の発生率上昇が示唆された。
160	イブプロフェン含有一般用医薬品	変形性関節症患者でイブプロフェンを投与された群で、心血管イベントの発症リスクが高まることが示唆された。
161	乾燥濃縮人活性化プロテインC	2003年3月～2004年2月までに活性型ドトロコギン・アルファ投与を受けた重症感染症患者261例を対象としたレトロスペクティブ調査において、25例に重度の出血がおこり、うち1例が頭蓋内出血を起こし、死亡した。
162	レボホリナートカルシウム	前治療歴のある進行再発または転移性結腸直腸癌患者829例を対象にFOLFOX4、FOLFOX4/ベバシズマブ、ベバシズマブ単独のランダム化比較試験において、ベバシズマブ群、FOLFOX4/ベバシズマブ群で中枢神経系の出血、腸管穿孔により各1例が死亡した。
163	ジクロフェナクナトリウム	骨関節炎の患者においてエトリコキシブとジクロフェナクの消化管の忍容性を比較したところ、エトリコキシブの方が良好な忍容性を示した。
164	塩酸ゲムシタビン	一医療機関において、2002年以降にゲムシタビンを投与された患者224例のうち、3例(1.4%)に血栓性微小血管症が見られ、6ヶ月以上投与された患者55例に限定してみると累積発生率は5.5%であった。
165	サキナビル	HIV感染結核感染患者22例を対象としたオープンラベル単群連続薬物動態試験において、リファンピシンとイソニアジドの併用で、サキナビルやリトナビルのAUCなどが減少した。
166	メシル酸サキナビル	HIV感染結核感染患者22例を対象としたオープンラベル単群連続薬物動態試験において、リファンピシンとイソニアジドの併用で、サキナビルやリトナビルのAUCなどが減少した。
167	黄熱ワクチン	1999年から2005年に報告された黄熱ワクチン予防接種後有害事象症例を解析したところ、無菌性髄膜炎の発生率が2001年に増加した。
168	アセトアミノフェン	小児の最近12ヶ月でのアセトアミノフェンの使用は、鼻炎と関連することが示唆された。
169	ハロペリドール	高齢者にハロペリドールを使用した場合、死亡率が上昇することが示唆された。
170	塩酸セルトラリン	自殺企図で入院した精神病の既往のない患者を追跡調査したコホート研究において、過去に抗うつ剤を使用していた患者は、現在抗うつ剤を使用している患者よりも自殺企図のリスクが高まることが示唆された。
171	ナプロキセン	骨関節炎と診断された患者群において、NSAIDsの投与は心血管イベント、脳血管イベントの発症リスクを高めることが示唆された。
172	塩酸バンコマイシン	イランで実施中のブドウ球菌多剤耐性に関する大規模調査でバンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌が単離された。
173	塩酸バンコマイシン	カナダで初めてMRSAでのバンコマイシン感受性低下が報告された。